

SM490YAとSM490YBの違いについて

(SM490YAのアップグレードとしてSM490YBを使用する場合の解説)

SM490YAとSM490YBの違いは

共に、JIS G3106で規定された溶接構造用鋼で、化学成分・強度は全く同一です。

唯一の違いは、衝撃保証値の設定です。YAが保証なしに対してYBは試験温度0°Cで27Jを保証しています。

また、橋梁で使用する場合、SM490YAは板厚16mmまでに対して、SM490YBは40mmまでの使用が認められています。

SM490YAのアップグレードとしてSM490YBの使用は?

大まかな相違点を下表1にまとめました。使用用途・化学成分・強度が同一であり、衝撃保証のみがSM490YBに設定されていることから、アップグレードとして認められると考えられません。



SM490YBの代替鋼としてSM490YAを使用することは、衝撃保証の問題から技術的に不可です。

表1 SM490YAとSM490YBの相違点 (板厚40mmで比較)

	SM490YA	比較	SM490YB
使用用途	溶接構造用鋼	=	溶接構造用鋼
引張強さ (N/mm ²)	490~610	=	490~610
降伏点 (N/mm ²)	355以上	=	355以上
衝撃保証値	規定なし	<	27J以上/0°C

JIS G3106(2008)より抜粋 (一部省略)

厚板の板厚25mmの場合を示す。板厚により数値は変化します。

規格名		SM490YA (JIS G3106)	SM490YB (JIS G3106)
製造板厚		100mm以下 (*1 150mm)	←
製法	製造方法	特に記載なし	←
	熱処理	圧延のまま・N・T・Q・TMC。 協定によりその他の熱処理も可。	←
試験単位	化学成分	溶鋼単位	←
	引張試験	同一溶鋼で最大と最小厚さが 2倍以内のものを一括し1組。	←
		熱処理を行ったものは、 同一熱処理条件毎(上記と同条件)	←
衝撃試験	同一溶鋼で同一熱処理毎 にその最大厚さを一組	←	
機械的性質	降伏点(YP)	(N/mm ²) 355以上	←
	引張強さ	(N/mm ²) 490~610	←
	伸び (min)	試験片 1A号	←
		伸び (%) 19以上	←
	曲げ試験	規定なし	←
	衝撃試験	J 規定なし 温度 規定なし	27J 以上 0°C
寸法公差	板厚	一般 (JIS G3193 表5)	←
	板厚以外	一般 (JIS G3193)	←
溶接性 *2	Ceq (max)	(%) 0.38以下	←
	Pcm (max)	(%) 0.24以下	←
化学成分	C (max)	(%) 0.20以下	←
	Si	(%) 0.55以下	←
	Mn	(%) 1.65以下	←
	P (max)	(%) 0.035以下	←
	S (max)	(%) 0.035以下	←
	上記以外の元素	添加可	←

*1 当事者間協定により製造可 機械的性質・化学成分は附属書JBによる

*2 TMCで製造した場合に適用。Pcmは協定により適用

アップグレード時の注意点

[SM490YAのアップグレードとしてSM490YBを使用する場合の使用可否は、関係法令及び技術基準によりますので使用されるユーザー殿のご判断になります。](#)

橋梁・鋼製セグメント等で使用される場合ですが、SM490YAからSM490YBへのアップグレードは、当社の実績ですと容易に認証されています。

一般的な市中入手性について

SM490YBは、最近では比較的容易に入手出来ます。SM490YAについては、ごく一部の流通で在庫があるようです。

SM490Y材の予熱温度の標準（道路橋示方書 表-18.4.5 及び 表-解 18.4.2）

	板 厚			
	t ≤ 25	25 < t ≤ 40	40 < t ≤ 50	50 < t ≤ 100
予熱温度を適用する場合のP _{cm} 条件	0.26以下	0.26以下	0.26以下	0.27以下
低水素系の溶接棒による被覆アーク溶接	予熱なし	50℃	80℃	80℃
サブマージアーク溶接 ガスシールドアーク溶接	予熱なし	予熱なし	50℃	50℃

予熱なしの場合も、気温5℃以下の場合は結露除去の為、20℃程度に加熱を行う

$$P_{cm} = C + Mn/20 + Si/30 + Ni/60 + Cr/20 + Mo/15 + V/10 + Cu/20 + 5B$$

橋梁における板厚による鋼種選定標準(道路橋示方書 表-1.6.1より)

板厚 (mm)	6	8	16	25	32	40	100
SM490YA	---						
SM490YB	---						

石原商事の取り組み

SM490YA材は残念ながら在庫販売を停止し、現在では[全てSM490YB材でのアップグレード対応にて、切板対応の在庫販売](#)しております。

また、板厚40mm超に対しては、SM520C材をSM490Y材のアップグレードとしてお客様にお勧めしています。

当社で在庫するSM490YB及びSM520C材は、全て新日鉄住金(株)製で、メーカーとの協定仕様によりJISより厳しく設定されたハイスペックな鋼板です。

標準在庫(定尺及び切板販売)

板 厚	4.5	6	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	20	22	25	28	30
SM490YB		○		○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
SM520C		○		○			○				○	○		○	○	○	

板 厚	32	36	38	40	42	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	100	135
SM490YB	○	○	○	○													
SM520C(+H)	○	○	○	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		☆	☆	○

* 2013.07現在の標準在庫です。最新の在庫に関してはHPの最新在庫表をご覧ください。

また標準外の為、表に載せていない在庫もあります。HPよりお気軽にお問い合わせください。

上記☆印は降伏点一定鋼(+H)仕様です。

参照資料



JIS ハンドブック 鉄鋼 I
財団法人 日本規格協会 出版



JIS ハンドブック 鉄鋼 II
財団法人 日本規格協会 出版



道路橋示方書 平成24年3月
財団法人 日本道路協会 出版